

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	世界的水資源問題を踏まえた我が国の対応方策検討調査経費		事業開始年度	昭和60年度		作成責任者
担当部局庁	土地・水資源局 水資源部		担当課室	水資源計画課		課長 宮崎 正信
会計区分	一般会計		上位政策	水資源の確保、水源地域活性化等を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水は代替のない貴重な資源であり、世界の水危機は、食料等を通じて膨大な水を依存している日本にとって安全保障に直結する課題である。そのため、我が国の経験及び様々な技術の蓄積をもとに、各開発途上国のニーズに応じた最適な支援を効率的に展開する事を目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	以下の①～③の調査成果をもとに、我が国の世界の水資源問題に対する支援のあり方を検討するとともに、今後の我が国の新たな水資源施策の展開方向を検討する。 ①世界の水資源政策担当部局との政策交流の推進 ②世界の水資源問題に関する調査 ③アジアにおける統合的水資源管理に関する検討調査					
実施状況	平成19年度において5件、平成20年度において5件、平成21年度において3件の調査業務を実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	49	45	43	43	52
	執行額	41	45	40		
	執行率	83.6%	100.0%	94.7%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	経費については、予算の執行状況を確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また、資金の流れの検証が出来るよう、全ての業務等について契約額・支出先及び契約方式等を把握している。また、業務の主たる部分に係る再委託は禁止しており、主たる部分以外の再委託については、軽微なもの(印刷、製本、計算処理、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等)を除き、再委託承諾申請書を提出させ、支出先・用途を把握することとしている。				
	見直しの余地	業務の発注方式について、平成21年度は、随意契約及び競争性のある企画競争方式による契約手続きを行っている業務があるが、より競争性を高めるため総合評価落札方式による一般競争による契約手続きに変更する余地がある。また、調査・検討に必要となる基本的な情報などについて、他の業務と共有することにより、業務の効率化を図る余地がないか検討を行う。 (20年以上経過した事業の廃止を前提とする検証) 本事業は、国連のミレニアム開発目標「2015年までに、安全な飲料水及び基礎的な衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する」に向けて国際貢献を行う必要性から事業として継続する必要があるが、水インフラの国際展開を推進する観点からも内容の見直しを行う。				
予算監視の効率化	【一部改善】 業務の発注について、より競争性・透明性等を高める取組みを進める。また、業務内容が政策目的を実現するためのものになっているのか、検証可能な仕組みを構築する。					
補記	【予算科目】 011水資源対策費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95水資源確保等の推進に必要な経費 42,658千円 40,414千円 ・95016-2122-08 外国旅費 5,950千円 3,713千円 ・95016-2123-09 水資源対策調査費 36,708千円 36,701千円					

国土交通省
40百万円

各業務の発注及び監督

【企画競争】

A. 民間法人(1)
15百万円

今年度開催が予定されている以下の国際会議の資料収集、開催支援等を行うと共に、水資源問題解決のための方策検討を行う。
①シンガポール国際水週間 2009
②第7回アジア太平洋インフラ大臣会合
③ストックホルム世界水週間
④国際衛生年フォローアップ会合

【企画競争】

B. 独立行政法人(1)
6百万円

水資源問題解決のため、NARBO等を活用し、アジア地域にIWRM計画の考え方を普及すると共に、各国がIWRM推進にあたり直面した課題の解決策、未解決な課題を共有する。この結果をとりまとめ、アジアにおけるIWRMの現状を把握する。

【随意契約】

C. 国際機関(1)
14百万円

昨年度から作成を続けているIWRMガイドラインについて、環境編の原案を作成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 日本水フォーラム			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直接人件費	直接人件費	6			
諸経費	諸経費	6			
技術経費	技術経費	3			
計		15	計		0
B.(独)水資源機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直接人件費	直接人件費	3			
諸経費	諸経費	2			
技術経費	技術経費	1			
計		6	計		0
C.ユネスコ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直接人件費	直接人件費	6			
諸経費	諸経費	6			
技術経費	技術経費	2			
計		14	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

【別紙】

A.民間法人(1法人) 15百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(特非)日本水フォーラム	15
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

C.国際機関(1機関) 14百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	国際連合教育科学文化機関	14
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

B.独立行政法人(1法人) 6百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(独)水資源機構	6
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		